

戦略に対する主な意見と対応

①第4回CHIBA推進会議における主な意見

項目	委員名	意見等	対応	
1	戦略0 戦略6 前田委員	訪日観光客の受入体制の底上げが必要。例えば語学の基準、表示・看板の基準、アクセス・誘導などの基準作りができれば、各自がそれをクリアする努力が生まれる。 1年後にリオから東京へオリンピックの旗が渡される、その時に大きく火がつく。それまでに準備(千葉の特色づけ、差別化)が必要。個人的には花が良いと思う(夏に咲く花がある)。	経済産業省では、サービス業のおもてなしに関する認証制度を2016年8月を目途に試行することとしており、こうした動きも注視しながら、県の対応を検討してまいりたい。 また、花については、「□大会関係者や観戦客等へのおもてなし力の向上」の中に、花を生かした景観づくりに取り組むことを記載した。	
2	戦略0 萩原委員	駅から会場まで、段差のない直結したものができないか。駅の入り口が一つだけであるため、(臨時でも)もう1箇所増やすなど、駅での円滑な入退出をどのようにさばくかが必要。	駅から会場までのルートについては、アクセシビリティ協議会や輸送連絡調整会議の検討状況を踏まえながら、今後、専門部会の中でも議論していきたい。	
3	戦略0 戦略9 田村委員	選手村や各競技会場に、千葉県の特徴を発信するインフォメーションを設置できないか。	組織委員会の意向も確認しつつ、インフォメーション設置の可能性について検討してまいりたい。	
4	戦略1 戦略3 志賀委員	市町村単独で、宿泊など事前キャンプに必要なものすべてを完結することは難しい。また、交通アクセスの問題も大きなテーマである。	キャンプ誘致等に取り組む市町村や団体との連携を強化するため、専門部会1の下に、地域ごとの分科会を設置した。また、交流・連携を広げ、県土の発展に資するように、効果的、効率的な道路整備を進めていく。	
5	戦略2 田村委員	子供たちに対する食育や体のメンテナンス等を指導するトレーナーや指導者の数を増やせると良いのではないか。	「□各競技の基盤強化」を新たに追加し、各競技において指導者育成に取り組むことを記載した。既存の「□人づくりの推進」等とともに、指導者の確保・育成に取り組んでいく。	
6	戦略3 夏目委員	交通の利便性の向上として、空港内にデジタルサイネージを設置するが、開催期間前後は、それだけではなく、さらにわかりやすい案内表示や案内ボランティア等が必要となるのではないか。	意見を踏まえ、「□交通案内の強化・充実」を追加し、空港や主要な駅、観光地において、交通案内や観光案内を行う都市ボランティアを配置することを記載した。	
7	戦略6 吉開委員	バルセロナ五輪では、言葉が通じなかった経験がある。海外の方への言葉によるおもてなしが重要。海外の方の受け入れについては戦略を立てて、県全体で取り組むことが大事。	外国人受入体制の整備については、引き続き、専門部会等で検討を進めていく。なお、県では、今年度から通訳ボランティアや外国語観光ボランティアガイドの養成を進めているほか、都市ボランティアの養成・確保についても、今後検討していく。	
8	戦略6 新倉副議長	外国人に対しては、SNSの情報が非常に早く伝わる。観光地を紹介するだけでなく、そこへ行くまでの交通アクセス・情報も大切。		
9	戦略8 新倉副議長	英語が最重要であるが、多言語や医療語学ボランティアなど、今まで手をつけていないところを養成していく必要がある。県、市、協会等がそれぞれ養成機関を持っているため、連携、情報共有が必要。	戦略0・8に「□都市ボランティアの養成・確保」を記載した。また、県では9月補正予算で、県内統一の募集・育成・管理運営のあり方を検討するための調査を実施予定。	
10	(全体)	JOC中森部長(オブザーバー)	2020年の最大のゲートウェイになるのは千葉県であり、すばらしいゲートウェイづくりに取り組んでいただきたい。また、国際競争力も考慮し、2020年以降も生かされるような戦略づくりとそれを実行するためのチームワークづくりを行ってほしい。	戦略は2020年以降も見据えつつ、今後も進捗状況に応じて新たな取組を盛り込みながら、拡充を図ってまいりたい。 戦略の推進に当たっては、企業・団体・大学・行政などが主体的に取組を進めるとともに、互いに取組の方向性を共有しながら連携し、千葉県の総力を集めた「チーム千葉」で取り組んでいく。 県としても、多様な主体の取組が相乗効果を生み出していけるように、県の果たすべき役割について検討してまいりたい。
11			トーテリレー、文化プログラム、事前合宿、ホストシティ・タウン構想等が、相乗効果を生み出すよう、うまく組み合わせを考えていくことが必要。	

②専門部会・市町村の主な意見

項目	委員名	意見等	対応
1 (全体)	幕張メッセ	大会後の将来について、「検討」という言葉を使うのは良いが、大会までに対応すべき項目は、「図る」や「推進する」とした方が適切ではないか。	オリンピックに向けた取組は、国・東京都・組織委員会を中心に、交通・輸送、バリアフリー、ボランティア、警備など、様々な分野で検討が進められており、本県としてもこうした検討状況を注視しつつ、今後、組織委員会等から示される方針等を踏まえながら、大会開催地としての取組を検討していく必要があることから、戦略に記載したいいくつかの取組については、現時点では「検討」としている。 なお、本戦略は今後も新たな取組を盛り込みながら、拡充を図っていくこととしており、現在は「検討」としている項目についても、今後の進捗状況や組織委員会の検討状況等に応じて、記載内容を修正していきたい。
2	戦略0 戦略3 幕張新都心まちづくり協議会	幕張メッセまでのルートを考えて、海浜幕張駅前のスカイウェイが立体化されていないことや、若葉地区の住宅建設、新習志野の新駅等が、今後の課題となってくるのではないか。	県では、過去の大規模イベントの実績等を踏まえながら、オリンピック期間中のイベント開催可能性等を調査したうえで、2020年の競技会場周辺の完成予想図を作成することを検討している。
3	戦略0 戦略3 戦略6 バス協会	幕張本郷や海浜幕張駅から幕張メッセやQVCマリンフィールドへの輸送は様々な大規模イベントで輸送実績があり、オリンピックでも対応可能と考えるが、外国人対応など、今までとは違う課題が出てくることも認識している。	この予想図は、アクセシビリティ協議会や輸送連絡調整会議の検討状況や専門部会での議論も踏まえながら検討を進め、必要に応じて、改訂後の戦略へ反映していくことも検討していきたい。
4	戦略0 戦略3 バス協会	サマーソニックや花火大会がオリンピックの期間中に開催される場合や、野球・ソフトボールが追加競技となり、QVCが会場となる場合は、様々な対応を検討する必要がある。	
5	戦略0 戦略3 戦略6 東日本旅客鉄道(株)千葉支社	臨時ダイヤなど輸送面、駅設備の見直し、外国人対応などソフト面について社内で検討している。この部会に参画している皆様と共通の課題については、連携をとりながら、取り組んでいきたい。	
6	戦略0 東日本旅客鉄道(株)千葉支社	幕張ではこれまで様々なイベントが開催されてきたが、オリンピックが来て、イベントの規制等はどうなるのか。オリンピック期間中の幕張のあるべき姿をこの部会でも検討し、戦略に盛り込んでいく必要があるのではないか。	
7	戦略0 千葉県園芸協会	花と緑による心安らげる空間づくりでおもてなしをしたい。オリンピック開催時期の暑さは花の大敵であり、夏場に耐えられる花づくりを今から進める必要がある。2020年に向けて、生産者が一致団結して取り組んでいきたい。	意見を踏まえ、「□大会関係者や観戦客等へのおもてなし力の向上」の中に、花を生かした景観づくりに取り組むことを記載した。
8	戦略0 千葉市	国内外から多くの観客を受け入れるには、まずは幕張新都心までの交通輸送力やアクセス機能の強化を図ることが前提として必要であり、その上で、駅などの交通拠点の機能強化や周辺地域の交通の円滑化に取り組む必要がある。	意見を踏まえ、「□交通・輸送」の中で、幕張新都心への輸送力の強化について検討することを記載した。
9	戦略0 幕張メッセ	成田空港からのアクセスだけでなく、京葉線の快速電車の増便やりんかい線の京葉線への乗り入れといった、東京方面からの鉄道アクセスについても項目を設けるべきではないか。	
10	戦略0 戦略5 観光物産協会	オリンピックを機に訪れる人々に、幕張だけでなく、広く県内を周遊いただけるよう、交通機関の方も含めて知恵を絞っていただけるとありがたい。	部会5・6において、外国人観光客誘致に向けた千葉県オリジナルの観光コースの作成・PRについて、現在検討を進めている。

②専門部会・市町村の主な意見

項目	委員名	意見等	対応
11	戦略0 戦略8 観光物産協会	ロンドン五輪の文化プログラムでは、イギリス中の鐘を一斉に鳴らすイベントが実施された。千葉県でも県民みんなが参加できるイベントを企画できると良いのではないかと。	意見を踏まえ、「□文化プログラム関連イベントの実施」の中で、多くの県民が参加できる文化イベントを県内各地で開催することを記載した。
12	戦略0 日本旅行業協会関東支部千葉県地区委員会	聖火リレーの計画は大会組織委員会が決定することであるが、県内を通るようであれば、県として何が出来るかを検討していく必要があるのではないかと。	意見を踏まえ、「□組織委員会等と連携したイベントなどの開催」の中で、組織委員会に協力し、県内が一体となった機運の醸成に取り組むことを記載した。
13	戦略2 ちば国際コンベンションビューロー	テコンドーの競技団体やパラリンピックの競技団体は脆弱であり、そうした組織の支援も大事なのではないかと。	意見を踏まえ、「□各競技の基盤強化」を追加するとともに、県では、9月補正予算で、本県開催競技の普及・振興イベントを実施する予定。
14	戦略3 バス協会	乗務員の外国語対応が課題である。また、車両は足りていても、乗務員の数が不足しており、高齢化も進んでいる。	意見を踏まえ、「□乗務員の外国語対応力等の向上」を追加した。
15	戦略4 千葉県身体障害者福祉協会	幕張メッセ周辺の車椅子アクセスマップの充実やレストラン・ホテル等のバリアフリー状況の周知等が必要ではないかと。	意見を踏まえ、「□競技会場周辺地域のバリアフリー関連情報の充実」を追加した。
16	戦略4 バス協会 タクシー協会	リフト付きバスや福祉タクシーは価格が高く、導入には自治体の支援が必要。	国交省が8月にまとめたバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策の中では、空港へのリフト付きバスの実証運行の実施や、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進に向けた支援制度の検討が位置付けられたことから、こうした国の動向も注視しながら、県の支援のあり方を検討していきたい。
17	戦略5 旅館ホテル生活衛生同業組合	観光地としての競争力を高めるため、誕生寺や鯛の浦などで、世界遺産登録を目指してはどうか。	観光地としての競争力を高めるため、部会5・6を中心に、県内観光資源の磨き上げ等について更なる検討を進めてまいりたい。
18	戦略5 成田市	バリアフリー化の促進による高齢者や障害のある観光客の受入環境の整備、及び外国人観光客の受入環境の整備に加え、親子連れ観光客の受入環境の整備についての項目を加えてはどうか。	今後、具体的取組を進めて行く中で、親子連れ観光客を含め、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に千葉を訪れる方々に満足していただけるよう、受入環境の整備に取り組んでいきたい。
19	戦略7 千葉県医師会	感染症は初動体制が大切。初期対応でつまづき、パニックにならないような体制づくりが必要。	意見を踏まえ、「□感染症対策」の中で、人材育成など初動体制の強化を図ることを記載した。
20		訪日外国人への医療対応として、医療通訳の養成や多言語対応についての検討が必要。	意見を踏まえ、「□訪日外国人への医療対応の強化」を記載した。
21	戦略8 船橋市	様々な団体で様々なボランティア制度が運営されている。オリンピックに向けて、県全体での統一的な仕組みづくりができないかと。	戦略0・8に「□都市ボランティアの養成・確保」を記載した。また、県では9月補正予算で、県内統一の募集・育成・管理運営のあり方を検討するための調査を実施する予定。
22	その他 千葉市	オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーについて触れた方が良いのではないかと。	「はじめに」の中で、今回のオリンピックで、未来への投資を行い、本県の新たな「宝」を創出していくことを記載した。
23	その他 鎌ヶ谷市	全体的にカタカナ表現が多く、わかりづらい。	わかりづらい用語には、できるだけ解説を加えることとした。